

## 学校経営推進費 評価報告書（2年め）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立牧野高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断における生徒の授業満足度指標「牧野高校の授業はわかりやすい」の向上</li> <li>・国公立大学への現役進学者数の増加</li> </ul>
計画名	Class Reform Project of Makino's Action Plan for Paradigm Shift 2020 (CRP MAPPS 2020) (「牧野高校 令和2年 大転換計画」のひとつとして実施する「授業改善プロジェクト」)

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1. 「確かな学力」の育成と授業改善 (1) 新学習指導要領を踏まえるとともに高大接続システム改革を見越し、大阪府教育振興基本計画の下、「確かな学力」の育成とそのため授業改善を進める。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全教員による継続的な授業改善と相互連携で、学校教育自己診断における「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答を令和2年度までに80%以上にする。(平成29年度69%)</li> <li>② 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、ICT機器やネットワーク環境を充実させて、令和2年度までに80%以上の教員がICTを活用した授業を展開できるようにする。(平成29年度59%)</li> <li>③ 入学時の学力を維持、向上させるために、生徒に「学ぶ楽しさ」を実感させ、学校教育自己診断における「授業の予習、復習はできている」への肯定的回答を、令和2年度には80%以上にする。(平成29年度45%)</li> <li>④ 国公立大学への現役進学者を令和2年度までに卒業見込み者の10%以上にする。(平成29年度6%)</li> </ul>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板機能付き超短焦点プロジェクター18台を、第1学年9クラス、第2学年9クラス、計18クラスの教室に設置し、担当する全ての教員が、普通教室でICT機器を利用した授業を展開できるようにする。</li> <li>・ 電子黒板機能により、新大学入試制度を意識した生徒の思考・判断・表現力強化や、英語4技能強化を実現する。</li> <li>・ 第3学年10クラスと少人数展開用3教室の合計13教室については、当面、既存の移動式プロジェクターを占有して使用できるようにし、希望の進路実現に効果を上げるとともに、本件プロジェクトの実施結果を検証し、速やかに、電子黒板機能付き超短焦点プロジェクターを設置する方策を検討して行く。</li> </ul>
取組みの 主担・実施者	MAPPS 2020 全体プロジェクト・リーダーを任命した首席を主担とし、本校が平成29年度に参加した「育成支援チーム」事業の中で形成されたミドルリーダー候補者で、主に授業改善に関する研究を担当し、都立高校等への出張、調査研究、発表をした6名の中堅・若手教諭（理科、社会科、英語科、数学科、国語科、社会科）を中心に、CRP MAPPS 2020 のメンバーに任命して、実施していく。

<p><b>本年度の取組内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は大阪府教育センターが実施する『パッケージ研修』に応募、採択されたことに伴い、5月に『パッケージ研修導入に係る授業改善委員会』を発足させ、全教科横断で2回の研究授業と研究協議、また全教員対象の校内研修会を行い、本校全体で一層わかりやすい授業を展開すべく電子黒板機能の活用方法を含めた授業改善を図った。</li> <li>・これらの結果、「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答は、前年度で1ポイント増、前々年度（69%）比では8ポイント増の77%となっている。</li> </ul>
<p><b>成果の検証方法と評価指標</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校教育自己診断における「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答を75%以上にする。</li> <li>② 75%以上の教員がICTを活用した授業を実施できるようにする。</li> <li>③ 学校教育自己診断における「授業の予習、復習はできている」への肯定的回答を50%以上にする。</li> <li>④ 国公立大学への現役進学者を卒業見込み者の8%（29名/360名）以上にする。</li> </ol>
<p><b>自己評価</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校教育自己診断における「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答は77%となり、前々年度（69%）比で8ポイント改善し、設定した2年めの目標である75%に対して2ポイント上回る結果となった。……………（○）</li> <li>② 学校教育自己診断における「ICT機器やネットワークを活用した授業を行っている」への教員の肯定的回答は81%となり、2年めの目標である75%に対して6ポイント上回り、3年めの目標の80%も上回る結果となった。また、前年度（81%）比2ポイント増の83%の生徒が、ICTを活用した授業が多いと回答した。……………（◎）</li> <li>③ 学校教育自己診断における「授業の予習、復習はできている」への生徒の肯定的回答は49%で、前々年度（45%）比では4ポイント、前年度比で2ポイントの改善ができたが、2年めの目標の65%には届いていない。当面、肯定的回答が50%以上になるとともに、「授業の予習、復習ができていない」が8%以下をめざすこととしたい。……………（△）</li> <li>④ 国公立大学への現役進学者は卒業見込み者の3.7%（13名/354名）で、2年めの目標の8%（29名/360名）に対しては未達となった。浪人を合わせた国公立大学への進学者は、24名となった。……………（△）</li> </ol>
<p><b>次年度に向けて</b></p>	<p>前年度の学校経営推進費で、電子黒板機能付き超短焦点プロジェクターを18の普通教室に設置し、加えてPTAからの寄付で10の普通教室と4つの理科講義室の全部で32の教室に設置した。また、今年度に2つの展開用教室と会議室にも電子黒板機能付き超短焦点プロジェクターを設置できた。今年度は、大阪府教育センターの「パッケージ研修Ⅰ」を実施したことなどにより、多くの教員が電子黒板や電子ペンを利用した授業を展開できるようになった。生徒も電子ペンを使いこなすなど、授業改善、授業の充実が図られていることを実感している。生徒の授業アンケートは、全平均がH29年度1回めの3.10から毎回着実に上昇して、R1年度2回めは3.24になった。R2年度も大阪府教育センターの「パッケージ研修Ⅱ」を行い、授業改善運動は持続させていく。</p> <p>本件で当初設定した4つの評価指標に対しては、学校経営計画に記載することで、教員への意識を一層持たせ、所期の段階的な成果目標を達成するようにしていきたい。今年度の国公立大学への現役進学者は13名と前年度（19名）を下回ったが、大学入試改革の狭間で安全志向が強くなったことが影響したと思われる。国公立型で大学入試センター試験を受ける生徒は、毎年着実に増えており、国公立大学をめざして勉強する意識は確実に伸びていると思われる。予習復習の意識も、授業環境の充実とともに上がることを期待する。この点は、校長からも不断のメッセージとして意識付けさせていきたい。</p>